

# 半固型化栄養法

## しくみ

：栄養剤に増粘剤を混ぜて注入する

→タンパク質が胃酸と反応し蛋白凝固反応を起こす

→栄養剤を胃内で半固型化する

→胃内停留時間を延長する

## 利点

1. 下痢の軽減
2. 胃食道逆流（嘔吐）の軽減
3. 栄養の吸収率上昇

**適応外**：以下の場合、胃内で固まりにくいため嘔吐・誤嚥のリスクがある

1. 胃切後の患者
2. 腸瘻（チューブの先端が12指腸に留置されている場合も同様）
3. 既往に腸管閉塞がある
4. 窒素源が蛋白質ではなく、アミノ酸やペプチドの形で配合されている栄養剤（エレンタール・ペプタメン）は、蛋白凝固反応が起こらず、固まらない
5. 胃酸分泌抑制剤（ネキシウム・タケプロン等）を使用している場合
  - ・胃内pH 6.0以上となり固まりにくい

注入手順	注意点
<p>①ヘッドアップ30度以上とする 可能であれば座位</p> <p>②注入前に胃内容物を吸引し残渣を確認する</p> <p>③栄養剤に増粘剤を攪拌しながら添加する</p> <p>④さらに30回攪拌する</p> <p>⑤攪拌後すぐに、250mlを5分かけて用手的に注入する</p> <p>⑥注入後、白湯を20ml注入する</p> <p>⑦注入後は30度～45度として、30分安静にする</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・腹部が圧迫されないように、ベッドの折り目と腰の位置を合わせる</li><li>・残渣があれば、少し時間をあける</li><li>・医師と1回の注入量や注入間隔の変更を検討する</li><li>・粘度は1% *栄養剤100mlにとろみ剤1g</li><li>・400～500mlの場合は2回に分けて5分・5分（計10分）で投与する</li></ul>